

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『慢性肝疾患症例における予後規定因子についての解析』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター内科 職位・氏名 院内講師・松井哲平

【研究の背景および目的】

門脈圧(≡肝静脈圧格差)は生存期間に影響することが知られています。近年、肝疾患の生存期間と骨格筋との関連が報告されています。しかしながら、慢性肝疾患症例の骨格筋量が予後に与える影響についての検討は十分なされていない現状です。

そこで、東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科では、慢性肝疾患患者様の予後に関連する因子について既に確立している因子(肝静脈圧格差など)と骨格筋量との関係を調査しそれらが生命予後に影響を及ぼすか否かを明らかにすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果によって、将来的に慢性肝疾患患者様の生命予後を改善させる可能性が期待できます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て(承認番号:M21249)実施するものです。2012年1月～2021年10月までに東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科において、肝静脈圧測定検査を受けた症例を対象とします。診療録(カルテ)から抽出した血液生化学検査結果、肝静脈圧測定結果、腹部超音波検査を用いた肝硬度(VTQ)測定結果、腹部CTを用いた骨格筋量の測定結果などを解析することにより、生存期間に影響を与える因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

消化器センター内科

職位・氏名 院内講師・松井哲平

電話 03-3762-4151 内線 6520